

母子プロファイル

母子プロファイル用フォーム

ケース番号: [] 世帯主の氏名: [] 保護開始年月日: 平成14年12月28日
 世帯主の住所: [] 市区町村: []
 生年月日: 昭和59年12月28日 調査実施年月日: 2007/07/28

母について
 子の親について
 子どもの生活について
 母子生活について
 母子生活支援センターについて

母子生活支援センターについて
 子どもの親について
 子どもの生活について
 母子生活について
 その他 []

内面的
 外的
 その他 []

年数
 回数
 その他 []

身体的
 精神的
 知的
 その他 []

経済生活の安定
 社会的不安定
 その他 []

母子生活支援センターについて
 子どもの親について
 子どもの生活について
 母子生活について
 その他 []

1 / 12 / 85

母子プロファイル

検索 | 印刷 | 戻る | 進む | 閉じる

入力 | ネットワーク | DS | BP接続 | PRNEM | ネットワーク | 母子プロファイル | 文書1 - Microsoft | 1616

生活課題をかかえているタイプへの支援策（試案1）

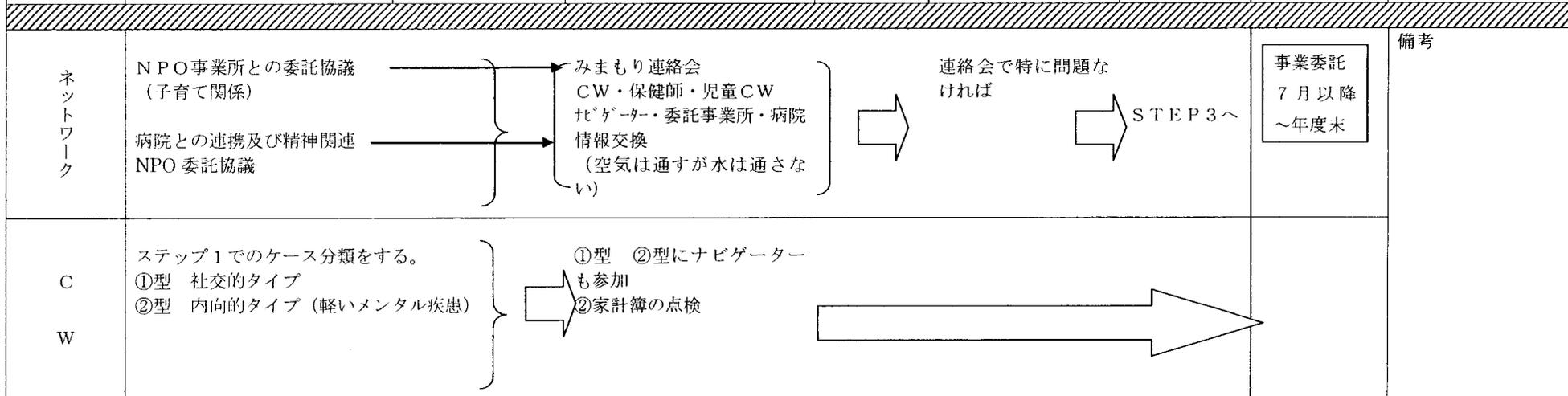
	STEP 1	STEP 2	STEP 3	
①生活リズムの確立 (睡眠・食事時間など)	<p>㉞ 各領域の簡単チェックリスト集(冊子)を作成し、○×式チェックしてもらい、○を1つずつ増やす目標を話し合っ決めて(①、②、④)</p>	<p>A 生活知識(①～④) 生活技術(①～④) を学び、身につける母子教室を開催し、定期的通級へ(NPO等と連携して取り組む)</p> <p>B 自助グループ化を図る</p>	<p>㉞ 子育て支援策を併用</p>	
②家事の確立 (献立・洗濯・掃除・分別など)	<p>㉞ ③について、簡単家計簿を作成し、つけてもらう(全員)</p> <p>給食費の世帯払い 家賃の支払い</p> <p>については最低目標として全員に取り組んでもらう</p>		<p>(継続)</p>	<p>...</p>
③金銭管理 (負債から、公共料金など)	<p>毎日点検表や家計簿をつけてもらい、1ヶ月単位で、達成度評価を取る。</p> <p>全体として取り組まれている→STEP 2へ まだの人はSTEP 1を繰り返す</p>		<p>③ 就労支援策を併用</p>	<p>...</p>
④健康管理 (タバコ、アルコール、薬、ストレス、通院)				<p>...</p>
ネットワーク	CW・保健師との話し合いと同行&個別訪問	<p>CW・保健師・児童CW・支援員、学級担当(NPO等)との『(仮)みまもり連絡会』によるカンファレンス・情報交換</p>	<p>継続</p> <p>・住宅・学校区資源など、他分野の参加資源活用検討</p>	
CW	<p>・女性支援員の配置</p> <p>・自立選定A(所の位置付けと世帯への説明・合意)</p> <p>・プログラムの説明</p> <p>・チェックリスト・家計簿の入った冊子の作成配布</p> <p>・負債のケア</p>	<p>通級への働きかけ・確認 (中断した場合のケア 女性支援員)</p> <p>・移送費の支給</p> <p>・家計簿、点検項目の確認</p> <p>・負債のケア</p>	<p>継続</p> <p>・就労相談員の参加</p> <p>・制度運用の検討</p>	

～生活課題をかかえている～ 生活・社会生活自立支援プログラム（試案2）

	ねらい	課題	活動メニュー（方法）	評価項目	評価基準	評価方法	備考	
ステップ1	自己肯定感達成感を醸成する。	地域の諸資源～とくに対人～と接する機会を増やす。	④高齢者世帯へのごきげんうかがい ①ゴミ投げ②化粧・整髪③外出等の身づくり ④話し相手⑤花やペットの世話⑥清掃（団地の共有フロア当番）⑦ガラス拭き etc（どれか1つか2つ紙オムツ等はしない）	①参加	（した・しない）	100%→A 1/2→B 1/2 未満→C	7割方達成していればSTEP2へ	
				②時間	（守った・守れなかった）	100%→A 1/2→B 1/2 未満→C		
③連絡	（した・しない）	100%→A 1/2→B 1/2 未満→C						
④報告	（した・しない）	100%→A 1/2→B 1/2 未満→C						
		金銭管理	子供にかかわる金銭管理 ①給食費の毎月納入	①納入	（した・しない）	100%→A 1/2→B 1/2 未満→C		
ネットワーク	・介護事業所（3～4カ所）へモデル依頼 保健師との打合せ（分類）	⇒	・保健師との同行・個別訪問 ・介護事業所への依頼・打合せ 訪問対象（高齢）世帯の抽出	⇒	介護事業所との連絡会 （状況交流） 2ヶ月に1回	⇒	連絡会で特に問題がなければ →ステップ2へ	
CW	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ・自立選定Aケース分類 ・プログラムの説明・合意 ・係打合せ・職員会議 </div> ⇒ ・女性ナビゲータ配置	⇒	・ヘルパーと本人とのつなぎ ・移送費支給 ・冊子の作成（社会資源・プログラム チェックリスト・家計簿） ・負債ケア	⇒	連絡会参加（事業担当者）	→	2ヶ月後提出 感想もそえて	※実費支援検討
その他留意点	（体制） 母子事業推進担当 各担当2名（予定）		・単身女性高齢者世帯（生保） ・サイクル（月1回～週1～2日まで条件にあわせて） （なるべく複数世帯へ出向く） （なるべく午前中の訪問）	→		→	期間1クール 2ヶ月程度	※ナビゲータの役目 ・事業の事務・母子事業参加者の引率担当・交流紙の発行

～生活課題をかかえている～ 生活・社会生活自立支援プログラム（試案2）

	ねらい	課題	活動メニュー（方法）	評価項目	評価基準	評価方法	備考	ステップ3
ステップ2	能動的に社会資源とかかわり、 自助意識を高める	・生活知識、生活技術 を身につける。 ・人と話をしたり、 聴いたり、かかわる	①型（仮称） 母親教室への通級 （例）～料理会・レクなど通 級。（期待ある企画） ②型（仮称） ・病院での通院移動補助 ・併設作業所への参加	参加	した・しない	④80% ⑤1/2以上 ⑥1/2未満	70%	④子育て支援策併用 ⑤就労支援策併用
				時間	守った・守れなかつ た	④70% ⑤1/2以上 ⑥1/2未満	70%	
				連絡	した・しない	④100%した ⑥それ以下		
							※⑥が3つあ ればステップ1へ ⑥が2つあれ ばステップ2で継 続	
		金銭管理	簡単家計簿（支出・収入を公 共的料金・教育費程度わかる もの）	つける	つけた つけない	④つけた ⑥つけない	⑥は引き続き ④はステップ3へ	しっかり 家計簿づけ （確認）



養育支援が必要な母子世帯-試案-(1)及び(2)

タイプ別		ステップ1	ステップ2	具体的な相談窓口等
TYPE1 就学前の子の養育	Aタイプ 母親が自ら動かず、働きかけなければならぬ母子世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅への訪問による相談 ・子育てに対する直接的助言 ・養育状況の確認、養育に関する相談 ・発達に関する相談(心身に関すること) <p>【活用できる具体的な社会資源等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師による訪問 ・家庭支援員による訪問 ・こばと学園・わかば整肢園・ポニーの教室 ・保育園の開放日 ・親子遊びの教室『あそ＊はなりフレ』への参加(参加型の集り) 	○保育所、幼稚園への通園	<ul style="list-style-type: none"> ・児童家庭課 ・健康推進課
	Bタイプ 母親が自ら動ける母子世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口での来所相談 ・発達に関する相談(心身に関すること) ・養育状況の確認、養育に関する相談 <p>【活用できる具体的な社会資源等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こばと学園・わかば整肢園・ポニーの教室 ・保育園の開放日 ・親子遊びの教室『あそ＊はなりフレ』への参加(参加型の集り) 	○保育所、幼稚園への通園	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所 ・児童家庭課 ・保育園 ・健康推進課
TYPE2 就学児童の養育 (小学校低学年)	Aタイプ 子のしつけに問題がある世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的なマナー、ルール等についての相談、助言 <p>【活用できる具体的な社会資源等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭支援員の訪問 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所 ・児童家庭課 ・学校(教育委員会含む) ・児童館 ・児童家庭課 ・コアの図書館活用
	Bタイプ いじめ、非行、不登校等の問題がある世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○子の学校生活等についての相談、助言 <p>【活用できる具体的な社会資源等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの訪問 		
	Cタイプ 子の発達に問題がある世帯	<ul style="list-style-type: none"> ○子の発達、就学についての相談 ・発達相談 ・特学への通学 		

補充点

<p>①保健師との話し合い ・主の疾病、乳幼児の 養育環境 ・利用が必要な子育て 資源活用方向を決める。</p>	<p>①参加型(あそ・はな・リフレなど) ②療育型(ポニー・療育センター) ③一般型(幼稚園・保育園など)</p>	<p>①、②について、保健師サイドの資源 やアドバイスを ③についてはCWからの積極活用</p>
<p>②幼稚園利用の拡大 (連合会との話し合い)</p>	<p>あずかり時間・費用・送迎など、各地区に 点在する各幼稚園の状況を把握し、利用 拡大を図る。</p>	<p>○費用の検討 ・入園料～検討(稼働収入の場合必要 経費控除検討) ・就園奨励費活用 ○生活、社会生活支援型の場合、重要 な資源として位置付ける。</p>
<p>③就学児童・生徒</p>	<p>①家庭支援員(児童家庭課)②スクール カウンセラー(教育委員会)など資源がある 児童家庭課、教育委員会サイドの各種打 合せ・カンファレンスにCWが積極的に参 加する。</p>	<p>特に教育サイドについては諸資源を 把握しきれいでないので、次年度の検 討課題とする。</p>

就労支援が必要な母子世帯（就労阻害のない世帯）- 試案1 試案2 -

試案2. 補充点

タイプ別		ステップ1	ステップ2	ステップ3	当該の支援策	保護法の支援策	他法等の支援策
TYPE1 全く就労意欲が無い (必死さが見えない)タイプ	Aタイプ 生活保護に慣れ、形式的な就労活動を実施。応募しても母子家庭の弱点を不採用の原因とする。	CWによる就労意識の改革・意識付け・ボランティア活動参加	ハローワークへの求職登録、求人検索、応募方法等の指導	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導	求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	トライアル雇用・インターンシップでの体験 社会福祉協議会主催の事業参加
	Bタイプ 就労経験が乏しく、若くして母子の境遇に就労活動が満足に実施できないまま、生活保護に慣れてしまう。	CWによる就労意識の改革・意識付け	ハローワークへの求職登録、求人検索、応募方法等の指導	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導	求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	トライアル雇用・インターンシップでの体験(福祉施設・企業)
TYPE2 就労意欲を持って活動するが、就労率の低いタイプ	Aタイプ 一生懸命応募するが、書類選考面接等で不採用になる。	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導			求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	
	Bタイプ 学歴、資格等で不採用になる。	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導			求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	
	Cタイプ 就労時間、休日等を自分の家庭の基準にして応募するタイプ。	CWによる就労意識の改革・意識付け	ハローワークへの求職登録、求人検索、応募方法等の指導	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導	求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	トライアル雇用・インターンシップでの体験
TYPE3 積極的に就労活動し就労率が高いタイプ	Aタイプ 就労に必要な情報収集を実施し、就労活動に役立てる。	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導			求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	
	Bタイプ 母子家庭のリスクを母子双方で負う考えで就労活動している。	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導			求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	
	Cタイプ 自分で取得している資格を活かそうと努力している。	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導			求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	
	Dタイプ 将来自立する目的をしっかりと持っている。	個人に対応する履歴書の書き方、面接方法等の指導			求人情報の提供・求人検索への同行。就労相談員の参加。	技能習得支援 生業支援	

<p>①ハローワークのコーディネート及び新事業展開にかかわる</p> <p>(例)面接技法講習等への参加 TYPE2 から選抜</p> <p>(例)コーディネートとCWのテーブル(協議体)にのせて資格取得講習参加、職業あっせん等へ TYPE3 TYPE2 から選抜</p>
<p>②インターンシップ開拓 実績・経験のある市内企業へ 依頼 7月以降</p> <p>TYPE1、TYPE2の中から 選抜</p>
<p>③トライアル雇用の開拓 新年度、労政課と協議し、 資源を生み出す。</p> <p>TYPE1 TYPE2</p>